

平成 18 年 2 月

(第 1 回)

京 都 府 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開 会 平成18年 2 月16日 午後 2 時 0 2 分
閉 会 平成18年 2 月16日 午後 3 時 0 0 分

2 出席委員

藤 田 委 員 長 冷 泉 委 員

岩 田 委 員 大 橋 委 員 田 原 教 育 長

3 欠席委員

な し

4 出席事務局職員

池 田	管理部長	宮 野	指導部長
山 内	管理部長理事・総務企画課長	中 島	教職員課長
森	学校教育課長	角 南	社会教育課長
西 園	総務企画課参事・企画情報室長	加 藤	主 幹
岩 佐	主 事	廣 田	主 事

5 議事の概要

(1) 開会

委員長が開会を宣告

(2) 前会議録の承認

ア 1月分1回の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認。

(3) 報告事項

ア 臨時代理議決の報告について

(ア) 平成18年2月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について

【報告】

教育長から、平成18年2月府議会定例会に提出される教育委員会関係議案について知事から意見を求められた案件について、いずれも異議がないこととし、第4号議案として臨時代理議決を行った旨の報告があった。

(イ) 教科用図書採択地区を設定した告示の一部改正について

【報告】

教育長から、平成18年3月1日に岩滝町、野田川町及び加悦町が合併し、与謝野町が設置されることに伴い、教科用図書採択地区のうち与謝地区の構成都市(区)の変更を行う案件について、第5号議案として臨時代理議決を行った旨の報告があった。

イ 請願陳情等の受理状況について

(ア) 教育環境の改善を求める請願について

【報告】

管理部長から、請願の概要について説明があり、昨年度と同様の内容で請願が行われていること、新たに請願事項とされているアスベストに関しては、すべての学校において調査を行い、既に飛散防止等の対処が必要な箇所には囲い込み工事等を全校において行っている旨の報告があった。

【意見】

委員から、アスベストに関しては被害を及ぼすことが無いよう調査と対策を行っており問題はないと考えられること、30人学級については本府では京都式少人数教育の方策により、市町村教育委員会や学校の考えで多様な方法が行える自由度の高い方法を採用していること等の意見があり、極めて厳しい財政状況ではあ

るが、今後とも教育の振興・充実に向け、府教育委員会において計画的に取り組んでいくこととの意見集約がなされた。

(イ) 後援中止を求める申入書について

【報 告】

指導部長から、請願の概要について説明がされ、後援中止を求められている事業は平成6年から全国各地で開催され、子どもから高齢者までを幅広く対象とした「バリアフリーコンサート」として実施されていること。府教育委員会では、平成16年6月に中丹地区で開催された同コンサートの後援を行っていること。後援申請に対しては、申請者から事業内容等を聴取し、後援基準に照らし合わせてその諾否を判断している旨の報告があった。

【意 見】

委員から、京都府以外の地域での後援団体の状況、当該事業における主催者の宣伝行為の有無、教育委員会として学校等へ鑑賞を推奨するような働きかけの有無について質問があり、指導部長から、他県での後援状況については開催地における県・県教育委員会がいずれも後援をされていること、事業内容はノーマライゼーションを理念としたコンサートであり、主催者の宣伝行為が行われている事実は確認されていないこと、教育委員会として鑑賞推奨を働きかけていることはない旨の説明があった。委員から、主催者が法令に反した企業活動を行っているか否かを教育委員会で判断できるものではないが、後援承認にあたっては、府民の目線に立ち検討することも必要であり、次回以降そうした視点も含めて考えていくこととの意見集約がなされた。

ウ 平成18年度当初予算等について

【報 告】

管理部理事から、2月府議会に提出された教育委員会関係の議案について、関係条例案等及び当初予算案の概要について報告がされ、18年度予算案については、総額で約1977億円となり、京都府全体予算に占める教育委員会関係予算は24.8%となっていること。重点施策としては、教育における現地現場主義の徹底、国に先駆けた府市協調による特別支援教育の充実、三本柱（体験活動・道徳教材・読書活動）による「こころ」の育み、子どもの安心・安全の確保の4点を掲げてそれぞれの事業について予算案として府議会へ提出がされた旨の報告があった。

【意見等】

委員から、小学校費が17年度から減額となっていることについて質問あり、管理部長から、教職員の退職等に伴う人件費に関するものである旨の説明があった。

エ 平成17年度中学校学力診断テストの結果概要について

【報 告】

指導部長から、学力の充実・向上を図るため、生徒の学力を把握・分析し、指導上の課題を明らかにするとともに、学校における個に応じたきめ細かな指導方法の

工夫や改善の充実に役立てる目的で実施したところであること、京都府内全中学校第2学年を対象に、国語・数学・英語について行ったこと、応用的・総合的な問題については国語を除く2教科では設定正答率を下回る結果となったこと、その他個々の分野ごとに課題分析と改善のポイントについての説明があり、今後の取り組みとして、子どものための京都式少人数教育によるきめ細かな指導の徹底、国語力向上をテーマとした京の子ども夢・未来校における研究実践と授業改善の推進、教員の資質向上のための研修内容の充実を図っていく旨の報告がされた。

【意見等】

委員から、学力診断テストによって学校同士が競い合うのではなくて、それぞれの学校の課題を明らかにし、子どもたちの学ぶ力を伸ばしていくために活用すること。国語での結果は想定より良いものであり大変心強いと感じるが、これからも一層の充実を図る必要があること。全国的にも指摘されている傾向であるが、覚えればできる問題は解け、応用的な問題は解けない状況が見えること等の意見があり、応用的な問題についての対応能力の向上に向けしっかりとした取り組みを進めることとの意見集約がなされた。

(4) 協議

ア 平成17年度2月補正予算案について 【非公開】

(5) その他

ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会会議規則第15条第1項第4号)

協議アについて、全出席委員異議なく、公開しないこととすることに議決。

(6) 閉会

委員長が閉会を宣告

署 名

藤 田 委 員 長

冷 泉 委 員

岩 田 委 員

大 橋 委 員

田 原 教 育 長

事 務 局 職 員